

WINDEX-ProII

(Windows7及びJIS2004漢字体系に対応)

パソコン版データエントリーソフトウェア ご説明資料



 株式会社 ティケーユー

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-7-12 日本写真会館3F
TEL03(5363)0411

〒530-0018 大阪市北区梅田3-3-20 明治安田大阪梅田ビル10F
TEL06(6453)1682

1. WINDEX-Pro II の変遷について

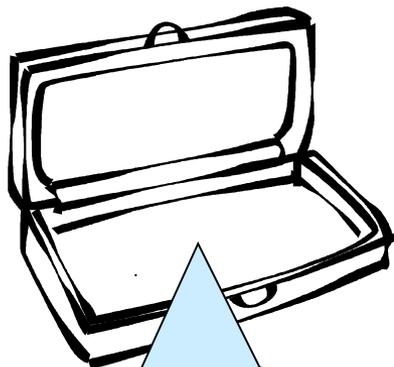
- 1969年 6月 日本で初めて、米国MDS社製キーツープ装置の販売を開始
- 1973年 4月 米国MDS社製キーツープディスク・システムの販売を開始
- 1982年 4月 (株)東芝と共同開発した国産初のキーツープディスク・システムTIDEXシリーズの販売を開始
- 1996年10月 **高千穂交易(株)情報システム部が分離・独立し、高千穂ユースウェア(株)を設立**
- 2001年 1月 パソコン版データエントリー・ソフトウェア**WINDEX-Pro**の販売開始
- 2001年 9月 OCR/スキャナー接続データエントリー・ソフトウェア**WINDEX- Scan** の販売開始
- 2002年10月 インターネット版データエントリーソフトウェア**WINDEX-Web/Linux版**の販売開始
- 2002年12月 イメージ分割/データ結合ソフトウェアを開発し、販売を開始
- 2003年 4月 インターネット版データエントリーソフトウェア**WINDEX-Web/Windows版**の販売開始
- 2004年 5月 イメージ分割データのスクランブル処理ソフトウェアを開発・販売開始
- 2005年12月 イメージ分割データの串刺し機能を開発・販売開始
- 2006年 4月 高千穂ユースウェア(株)から、現社名の(株)ティケーユーに社名を変更
- 2006年 6月 イメージ分割データの編集処理ソフトウェアを開発・販売開始
- 2006年 7月 インターネット版データエントリーソフトウェア**WINDEX-Web III**販売開始
- 2007年 3月 WINDEX-Pro版イメージ分割/データ結合ソフトウェアの販売開始
- 2008年 9月 WINDEX-Proシンクライアント対応のネットワークターミナルシステムの販売開始
- 2009年 2月 高速汎用処理用イメージ分割/データ結合ソフトウェアの販売開始
- 2011年12月 **WINDEX-Web III**を**Super EntryBB**に名称変更して販売
- 2012年 4月 パソコン版データエントリー・ソフトウェア**WINDEX-Pro II** の販売開始
(Windows7及びJIS2004漢字体系に対応)

2. WINDEX-Pro II の製品構成について

WINDEX-Pro II ソフトウェアは、Windows環境下で簡便、且つ安価で高度な入力システムを提供いたします。

WINDEX-Pro II ソフトウェア製品の1式には下記の商品が含まれます。

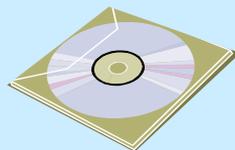
WINDEX-Pro II ソフトウェア梱包パック



WINDEX-ProIIソフトウェア
1式に含まれるもの



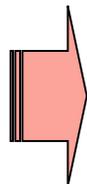
専用プロテクタ



WINDEX-ProIIソフトウェア
(マニュアル付き)



ユーザーズガイド



WINDEX-Pro II ソフトウェア1式に同梱される

- ①WINDEX-Pro II ソフトウェア専用プロテクタを挿入
 - ②WINDEX-Pro II ソフトウェアをインストール
- することで動作環境が整います。



WINDEX-ProII
ソフトウェア



(インストール)



専用プロテクタ



(挿入)

* プロテクタのタイプは
・USBクライアントプロテクタ
・USBサーバープロテクタ
から発注時に選択していただけます。

WINDEX-Pro II 搭載用パソコン



※パソコンは付属しません

3. 使用するパソコンについて WINDEX-ProIIの動作環境

使用するパソコンの種類

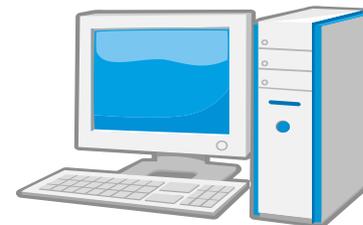
パソコンの対応メーカー: メーカー不問

対応パソコンのタイプ: デスクトップ型
タワー型
ノート型

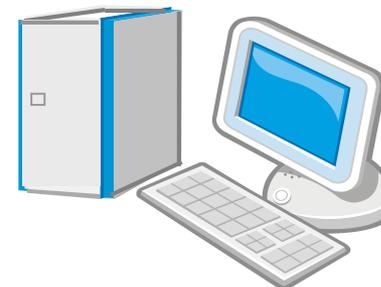
} どのタイプでも使用可能

パソコンの仕様: 以下に記載する仕様に副う

デスクトップ型パソコン



タワー型パソコン



ノート型パソコン



推薦動作環境

対応機種: DOS/V機

CPU性能: 2GHz以上

対応OS: Windows7以降

MEMORY: 2GB以上

DISPLAY: 17インチ以上

DISK容量: 空エリア20MB以上(但しプログラム領域のみ)

4. WINDEX-Pro II ソフトウェアの起動方法について

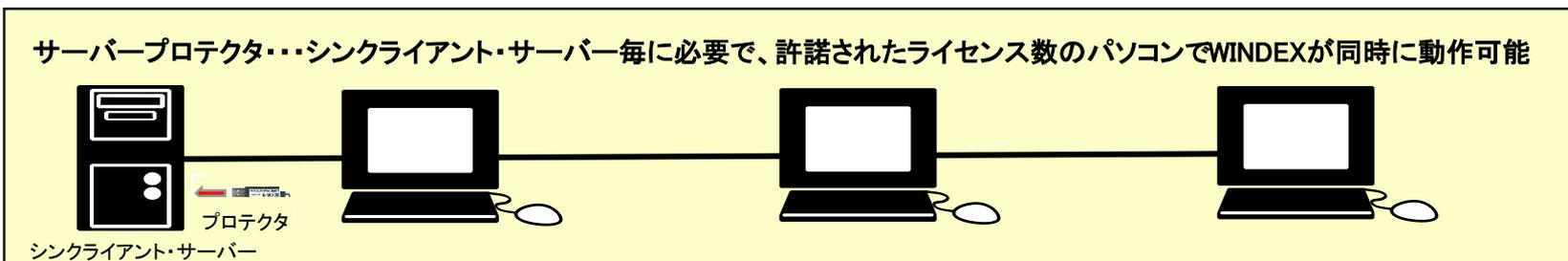
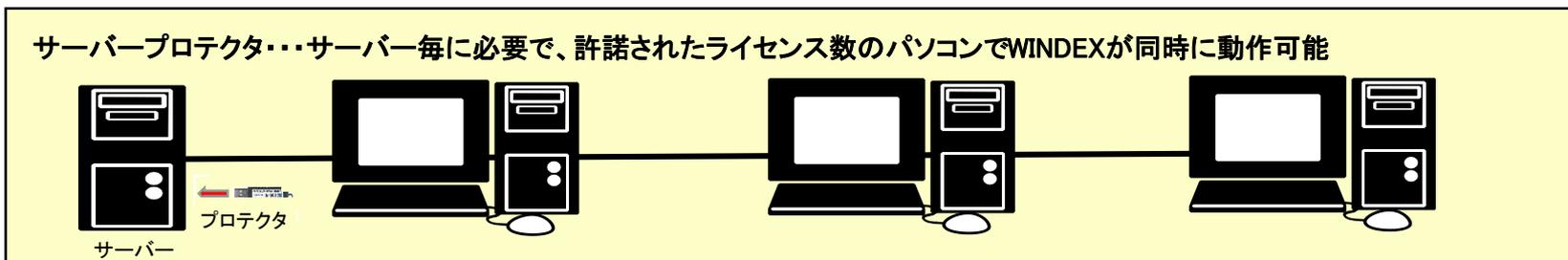
WINDEX-Pro II ソフトウェアは専用プロテクタによる起動方式です。

- ・同時に実稼動するパソコン台数分のWINDEXソフトウェアが必要です。
- ・プロテクタはクライアント用とサーバー用の2種類があります。
- ・運用の実態に即して発注時に選択していただきます。

1) クライアントプロテクタ……一般的な運用で利用されています。



2) サーバープロテクタ……情報漏洩対策やシンクライアントのシステム構築などで有効です。



5. システム構成について

WINDEX-Pro IIは規模や目的により、在宅型の単体入力からLAN構成の大規模集中入力まで、柔軟なシステム構成が可能で、フォーマットなどの入力環境はすべて同じで、互換性があります。

また、事前設定により、任意のパソコンがスーパーバイザ（管理者端末）として使用できます。

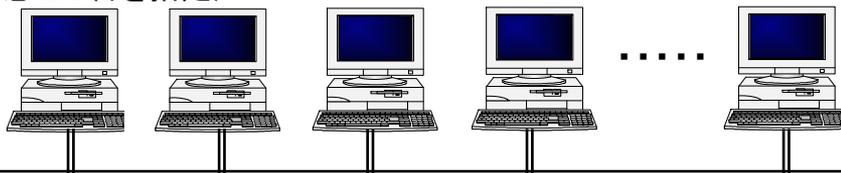
1) スタンドアローン(単体システム)型システム構成



在宅向け単体システム
(クライアント1台のみのシステム)

2) SOHO (ピア・ツー・ピア=P2P)型システム構成

パソコンサーバー
(任意の1台を指定)



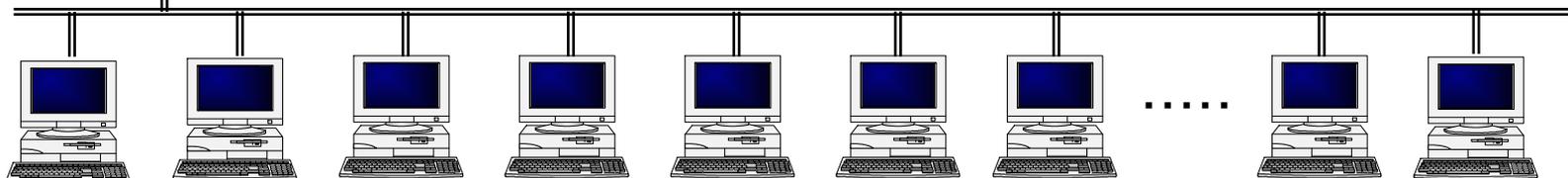
(最高10台まで)

サーバーを立てずに、任意のクライアントパソコン1台のファイルを共有して使用
(クライアント10台以下のシステム)

3) センター集中(クライアント・サーバー)型システム構成



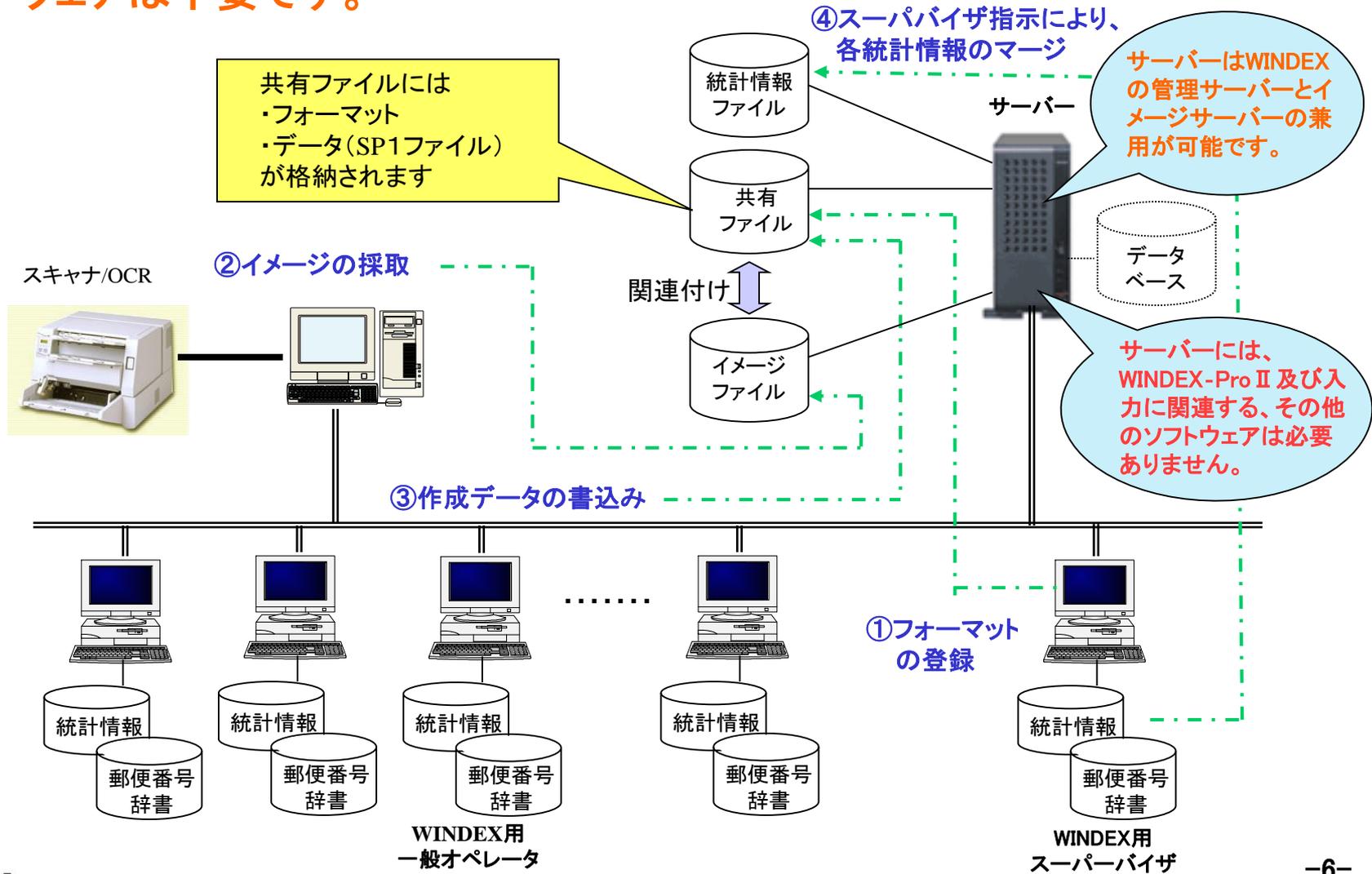
ファイルサーバー



クライアント10台以上のシステムで、ファイルサーバーを立てて、ファイルを共有して使用
(1サーバーに70台の接続実績)

6. システムの運用方法について

下図はセンター集中(クライアント・サーバー)型での運用事例です。
WINDEX-ProIIシステムでは、**サーバーに管理専用ソフトウェアや入力専用ソフトウェアは不要です。**



7. エントリーの機能について

1) WINDEX-Pro II 機能の概要について

- ① 約30年間の販売実績があるTIDEXエントリーシステムの機能を、Windows環境下で実現することを目的としたソフトウェアです。
- ② WINDEX入力パソコン1台でフォーマット作成から入力環境の作成、エントリー／ベリファイ／エディット操作と出力定義、更には統計情報の採取まで可能な完全自己完結型ソフトウェアです。
- ③ 事前設定により、管理者機能と一般オペレーター機能の使用が選択できます。
- ④ 原票目視エントリーはもちろん、ペーパーレス、ノーデリバリーを実現するイメージ・エントリーが可能で、イメージとの関連付けが簡単に行なえます。
- ⑤ スクリーン・エディタで、入力画面フォーマットが誰でも簡単に作れます。
- ⑥ 要求される入力精度に応じた多彩なベリファイ、再ベリファイ及びエントリー＋エントリー・マッチング機能があります。
- ⑦ 入力精度を高める豊富なパラメータ・チェック機能があります。
- ⑧ マクロ言語プログラミングで自由なチェック・編集が可能です。
- ⑨ ACCESS、SQLのデータベースもダイレクト参照できます。
- ⑩ かな漢字変換入力の他に連想漢字入力も可能ですので、オペレーターのスキルに合わせた漢字入力を実現できます。
- ⑪ 各ホストコンピューター系漢字コードに変換した出力データの作成が可能です。
- ⑫ Windows 7及びJIS2004に対応しています。

2) WINDEX-Pro II の主要機能一覧(その1)

| ■ システム主要機能 | | |
|------------|------------|---|
| | 機 能 | 概 要 |
| データ入力 | 入力モード | エントリー/ベリファイ/エディット(修正モード)/エントリー+エントリー・マッチング機能/OCR訂正機能 |
| | 漢字入力 | ・カナ連想入力/カナ漢字変換入力(IME利用) ・JIS X 0208:1990/X 0213:2004対応 |
| | フォーマット切替え | 自動切替え、ファンクションキーによる切替え、フォーマット番号入力による切替え |
| | データベース検索機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・データベースファイルをデータとして取り込むことが可能 ・10種類のテーブルが登録可能 ・ODBC接続でSQL及びACCESSの使用が可能(マクロ機能による参照、更新) ・郵便事業(株)発行の郵便番号データを基にした郵便番号辞書の住所検索が可能 |
| | 修飾機能 | フィールド枠・入力文字・タイトル文字の色指定 |
| | 複写機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・前画面複写機能(レコード,項目) ・拡張複写機能(桁数無制限×6個) |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・計算(四則演算、文字列結合) ・英小文字優先フィールド機能 ・タブ機能 ・ジャンプ機能(フィールド指定の全桁数入力後に次フィールド移動) ・付箋(メモ)機能 |
| フォーマット作成 | 定義方式 | 画面イメージ方式および表形式での作成が可能 |
| | レコード長 | 最大32,000バイト |
| | 項目数 | 最大2,000項目 |
| | 項目桁数 | 数値は最大20バイト、その他は最大1,348バイト |
| | 画面数(ページ数) | 最大99画面分割が可能 |
| データチェック | データチェック | ・文字属性チェック ・範囲チェック ・必須入力チェック ・チェックデジット |
| データ編集 | データ編集 | 右詰/左詰、パディング指定、マイナス符号の重ね処理 |
| プログラミング | マクロ機能 | ファイル、レコード、項目単位でオンコーディングによる任意なチェックおよび編集機能 |
| 作業管理 | 作業数 | 無制限 |
| | バッチ数 | 999バッチ |
| | 進捗管理 | 各作業に対するバッチ毎の入力/ベリファイの進捗管理 |

2) WINDEX-Pro II の主要機能一覧(その2)

■ システム主要機能

| | 機 能 | 概 要 |
|---------|-----------|--|
| 連想入力辞書 | 辞書ファイル | <ul style="list-style-type: none"> ・KIS連想辞書(標準) ・KANTEC連想辞書(オプション) |
| イメージ表示 | イメージ表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・上下、左右表示が自由 ・拡大、縮小、回転、スクロールが可能 |
| | ファイル形式 | TIFF、BMP(モノクロ、カラー)、JPEG |
| | 入力位置 | 注目線/矩形の設定機能 |
| 出力データ変換 | マージ機能 | 複数のバッチファイルをマージ |
| | 1バイトコード変換 | JIS、EBCDICコードに変換可能 |
| | 漢字コード変換 | 各ホストコンピュータ系の漢字コードとユニコードに変換可能 |
| | 外字コード変換 | 仮コードを登録漢字コードに変換 |
| | 出力レコード形式 | 固定長、可変長、CSV形式で出力 |
| 統計情報 | 作業統計表示/印刷 | 作業/オペレータ毎のデータ件数、タッチ数および文字種別をカウント |
| 運用環境変更 | キーボードタイプ | JISキーボード/029擬似キーボードの選択可能 * エントリー専用029配列擬似キーボード(JIS配列と設定切替え型キーボード)はオプション |
| | 漢字入力既定値 | カナ連想入力/カナ漢字入力の選択可能 |

3) WINDEX-Pro II のJIS規格対応について

WINDEX-Pro II システムでは、下記2種類のJIS規格に対応できます。
但し、同一システム内で、2種類のJIS規格を併用することはできません。

◎対応するJIS X 0208:1990とJIS X 0213:2004体系の比較

| JIS規格 | 包含範囲 | | | OS | 代表 コード例 | ISO | EUC |
|------------------------------|-------|---|---|------------------------------------|-------------------|--|----------------------|
| | ASCII | 第1水準 第2水準 | 第3水準 第4水準 | | | | |
| JIS X 0208:1990 (JIS90) | ○ | ○ 非漢字: (524字) 第1水準: (2,965字) 第2水準: (3,390字) | — | Windows Vista以前: (NT、2000、XPなど) | EUC, Shift_JIS | ISO 2022 JP (RFC 1468) | EUC- JP |
| JIS X 0213:2004 (JIS2004) | ○ | ○ 非漢字: (524字) 第1水準: (2,965字) 第2水準: (3,390字) | ○ 非漢字: (659字) 第3水準: (1,259字) 第4水準: (2,436字) | Windows Vista以降 (Vista、7) | Unicode | ISO/IEC 10646 参考名称: ISO-2022-JP- 2004 | EUC- JIS- 2004 |

【マイクロソフト社の発表情報】

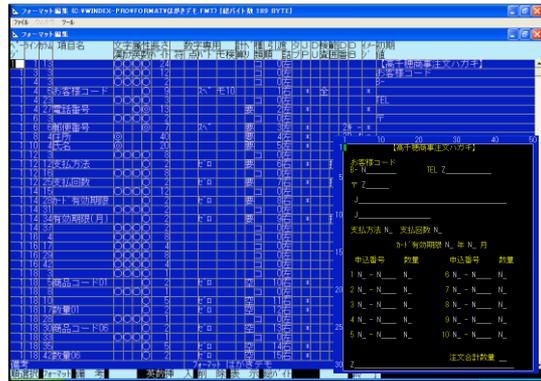
- XPプロフェッショナルの製品サポート終了日は2014年4月 8日を予定。
- 「JIS90互換MSゴシック・明朝フォントパッケージ」の提供は、Windows7以降で終了の予定。
- 「JIS X 0208:1990」と比較して、「JIS X 0213:2004」で例示字形の変更があったフォントは168

字。

8. 入力処理の概要について

WINDEX-Pro II での入力処理の概要は下記のとおりです。

①フォーマット作成(スーパーバイザ)



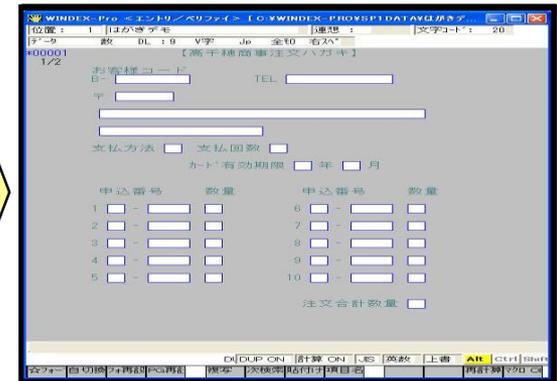
入力画面作成

②作業管理作成(スーパーバイザ)



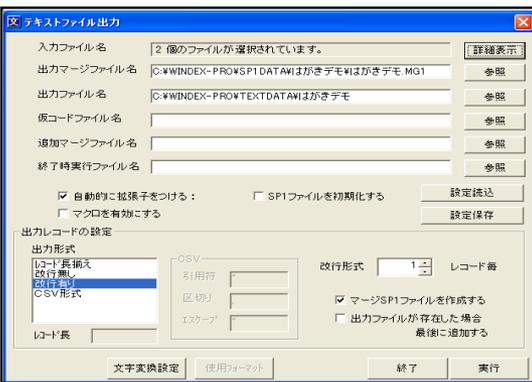
入力環境の作成(バッチ仕分け等)

③エントリー(オペレータ)



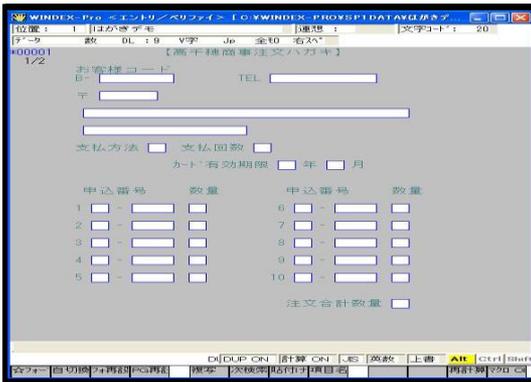
データ入力開始

⑥出力(スーパーバイザ)



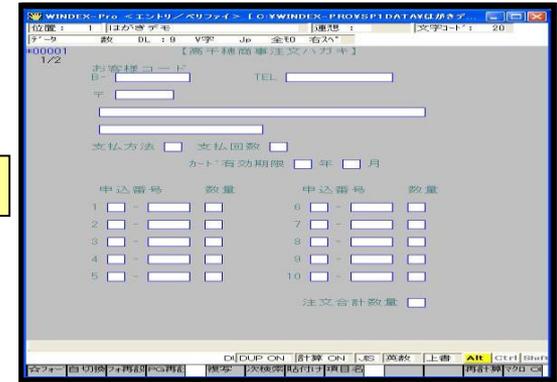
データ出力(処理終了)

⑤エディット(オペレータ)



エディット(修正/確認)

④ベリファイ(オペレータ)



ベリファイ開始

9. スーパーバイザ機能とオペレータ機能について

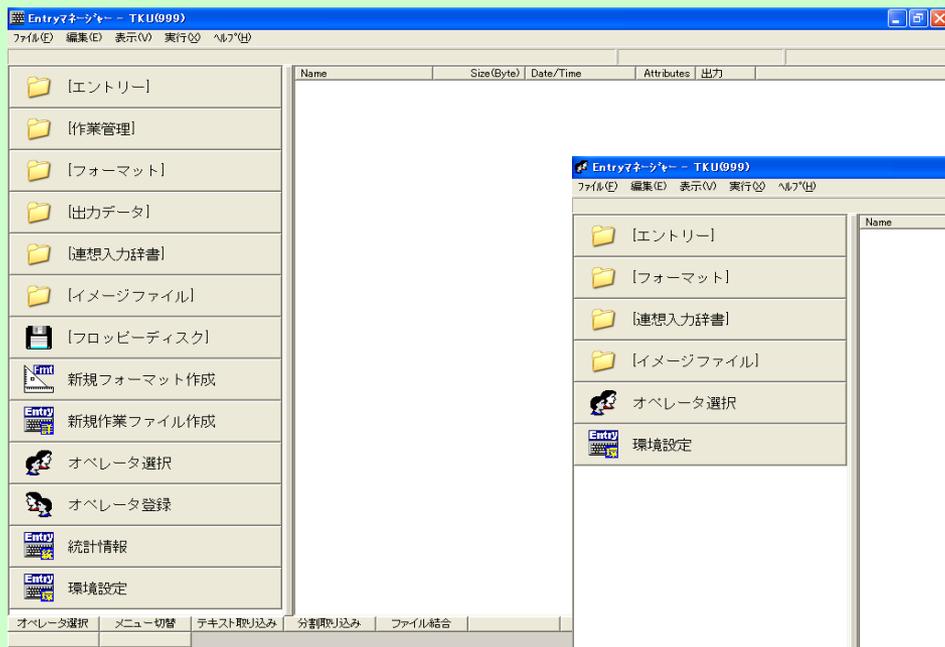
WINDEX-Pro II ソフトウェアはスーパーバイザ(管理者)と一般オペレータのすべての機能を包括します。

入力者の役割に基づき使用権限を決定し、事前設定の段階でいずれかの機能を選択します。

尚、システム中でのスーパーバイザ(管理者)台数の制限はありません。

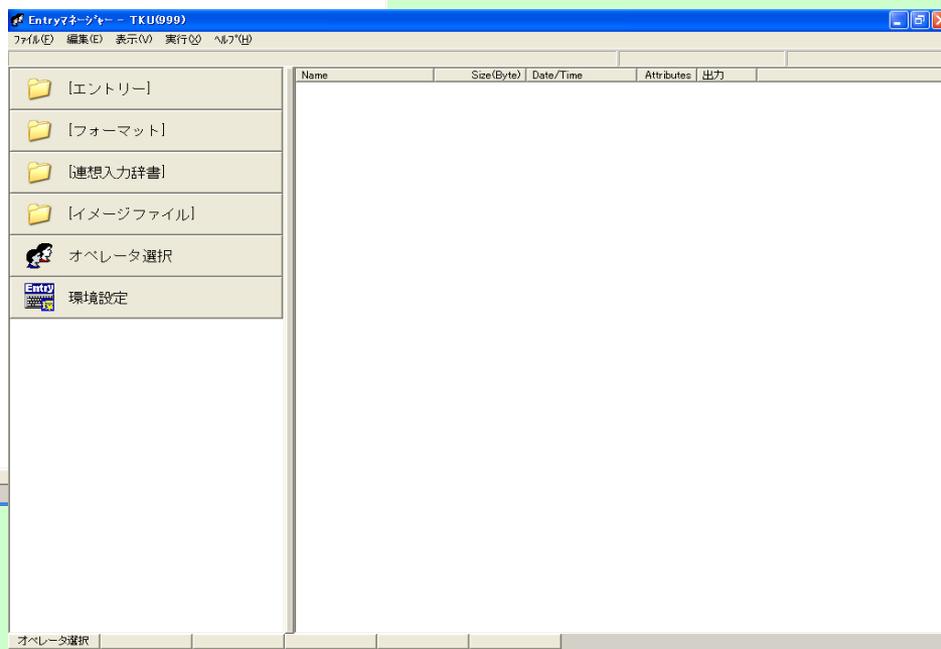
スーパーバイザ(管理者)用開始画面

* 入力操作以外に新規フォーマット作成、出力操作、統計情報採取など

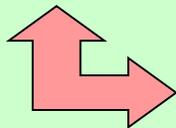


一般オペレータ用開始画面

* 入力に関する基本操作のみ



事前設定により
使用権限を決定



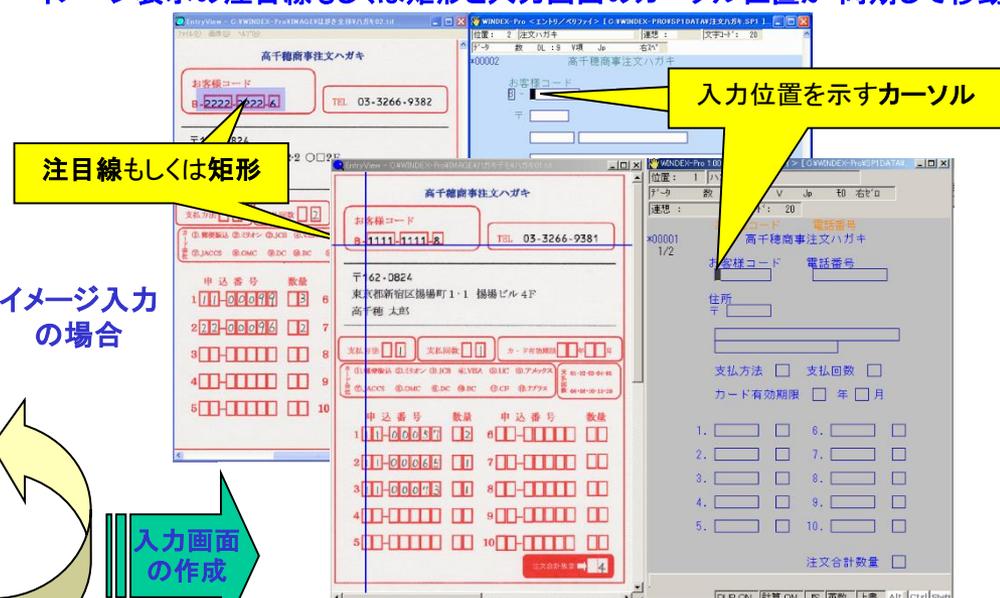
10. フォーマット作成機能と入力画面について

フォーマット作成機能はスーパーバイザに認められる機能です。

帳票を基にして入力する属性、桁数、チェック等の項目を定義します。

フォーマット作成では、随時、画面イメージと表形式に切替えて使用・確認できます。

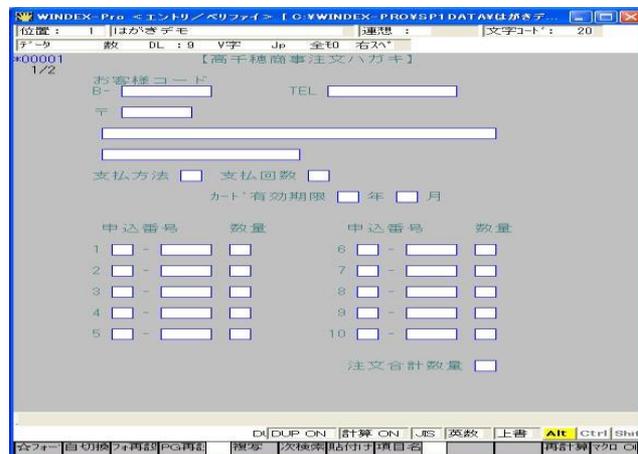
* イメージ表示の注目線もしくは矩形と入力画面のカーソル位置が同期して移動



イメージ入力
の場合

原票入力
の場合

| 項目名 | 文字属性長さ | 数字専用 | 計 | 種別 | 入力 | J | D | 検 | DD | 初 | 期 |
|---------|---------|------|---|----|----|---|---|---|----|-------|---|
| 1 1 3 | 0000 | 24 | | | 0 | 左 | 0 | | | | |
| 1 3 3 | 0000 | 12 | | | 0 | 左 | 0 | | | | |
| 1 4 3 | 0000 | 2 | | | 0 | 左 | 0 | | | | |
| 1 4 6 | お客様コード | 9 | | α | 1 | 左 | 1 | * | 全 | * | |
| 1 4 23 | 電話番号 | 3 | | | 0 | 左 | 0 | | | | |
| 1 4 27 | 電話番号 | 13 | | | 0 | 左 | 0 | | | * | |
| 1 6 3 | 〒 | 2 | | | 0 | 左 | 0 | | | * | |
| 1 6 6 | 郵便番号 | 7 | | α | 3 | 左 | 3 | * | 2 | * x | |
| 1 8 4 | 住所 | 40 | | | 4 | 左 | 4 | * | 20 | 4 * x | |
| 1 10 4 | 氏名 | 20 | | | 5 | 左 | 5 | * | | | |
| 1 12 3 | 支払方法 | 8 | | | 0 | 左 | 0 | | | * | |
| 1 12 12 | 支払回数 | 2 | | α | 6 | 左 | 6 | * | 指 | * | |
| 1 14 28 | 有効期限 | 2 | | α | 8 | 左 | 8 | * | | * | |
| 1 14 31 | 有効期限 | 2 | | | 0 | 左 | 0 | | | * | |
| 1 14 34 | 有効期限(月) | 2 | | α | 9 | 左 | 9 | * | 指 | * | |



1) WINDEX-Pro II パラメータ設定画面について

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕

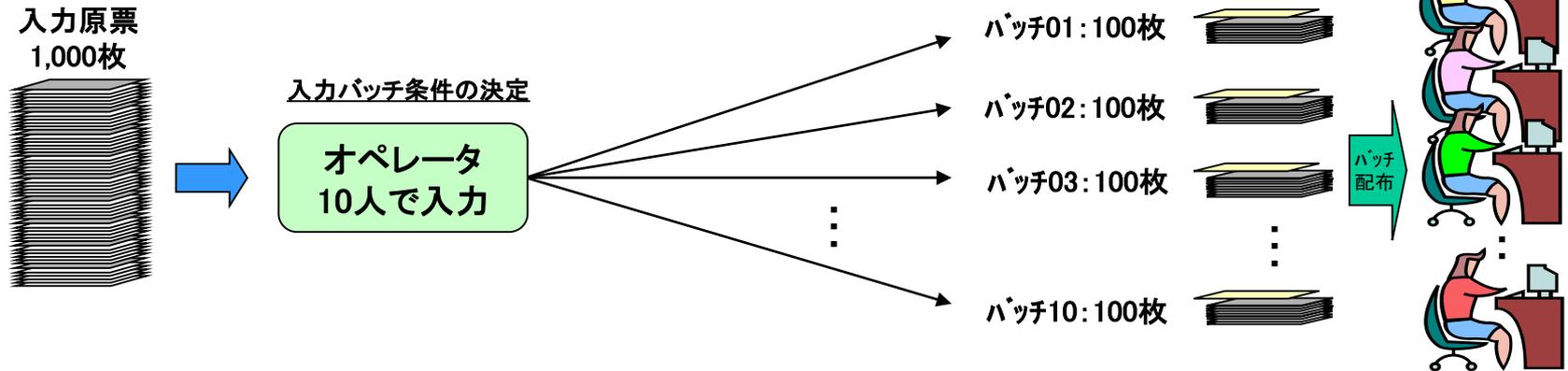
| ページ | ライン | カラム | 項目名 | 文字属性 | 長さ | 漢字 | 英字 | 数字 | 専用 | 計算 | 種類 | 引渡 | 入力 | タブ | JP | DU | 範囲 | DB | イメ | 初期 | | | |
|-----|-----|-----|--------|------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|--------------|
| | | | | 漢 | バイト | 点 | パド | モ | 検 | 算 | 類 | 順 | 詰 | 順 | プ | PU | 査 | 冊 | 番 | B | シ | 値 | |
| 1 | 1 | 13 | | ○ | 24 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | 【高千穂商事注文ハガキ】 |
| 1 | 3 | 3 | | ○ | 12 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | お客様コード |
| 1 | 4 | 3 | | ○ | 2 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | B- |
| 1 | 4 | 6 | お客様コード | ○ | 9 | | ス | パ | モ | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | |
| 1 | 4 | 23 | | ○ | 3 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | EL |
| 1 | 4 | 27 | 電話番号 | ○◎ | 13 | | | | | 要 | コ | 2 | 左 | | * | | | | | | | | |
| 1 | 6 | 3 | | ○ | 2 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | 〒 |
| 1 | 6 | 6 | 郵便番号 | ◎ | 7 | | ス | パ | モ | 要 | コ | 3 | 左 | | * | | | 2 | 冊 | | * | | |
| 1 | 8 | 4 | 住所 | ◎ | 40 | | | | | 要 | コ | 4 | 左 | | * | | | 20 | 冊 | | * | | |
| 1 | 10 | 4 | 氏名 | ◎ | 20 | | | | | 要 | コ | 5 | 左 | | * | | | | | | | | |
| 1 | 12 | 3 | | ○ | 8 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | 支払方法 |
| 1 | 12 | 12 | 支払方法 | ○ | 2 | | | セ | ロ | 要 | コ | 6 | 右 | | * | | | | 指 | | * | | |
| 1 | 12 | 16 | | ○ | 8 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | |
| 1 | 12 | 25 | 支払回数 | ○ | 2 | | | | | | コ | 0 | 左 | | | | | | | | | | |

* 電子メールアドレスなどの小文字優先入力項目の設定が可能

| 項目 | 機能と説明 | 項目 | 機能と説明 | 項目 | 機能と説明 | |
|-------|-----------------------|--------------------|------------------------------|---------------|----------------|------------------|
| ①ページ | 入力画面のページ数 | ⑪計算 | 四則演算の計算結果を表示 | ㉑ 範囲 | 範囲/範囲値チェックの設定 | |
| ②ライン | 入力画面のライン数 | ⑫ベリ | 各種ベリファイの設定 | ㉒ D番 | 検索データベース番号の設定 | |
| ③カラム | 指定ラインのカラム位置 | ⑬種類 | 項目の種類(コメント、スペース、フィルター、固定値など) | ㉓ DB | 検索データベースキーの設定 | |
| ④項目名 | 入力項目の名前 | | | ㉔ イメージ | イメージが関連付けされた項目 | |
| ⑤文字属性 | 漢・カナ・英・数 ◎最優先、○入力可 | 引渡 | ⑭順 | 項目出力時の順序 | ㉕ 初期値 | 初期値及びコメント、固定値の入力 |
| | | | ⑮詰 | 出力時のパディング処理 | | |
| ⑥長さ | 項目の長さ(バイト) | ⑯入力順 | 項目入力時の順序 | | | |
| 数字専用 | ⑦符 | 出力時の符号処理 | ⑰タブ | タブ設定項目 | | |
| | ⑧点 | 小数点以下の桁数 | ⑱JP | 項目桁数満了時のジャンプ | | |
| | ⑨パド | 空白(パディング)処理 | ⑲DU | 項目複写(デューブ)の設定 | | |
| | ⑩モ検 | モジュラス(チェックディジット)検査 | ⑳検査 | 必須入力項目の移動条件設定 | | |

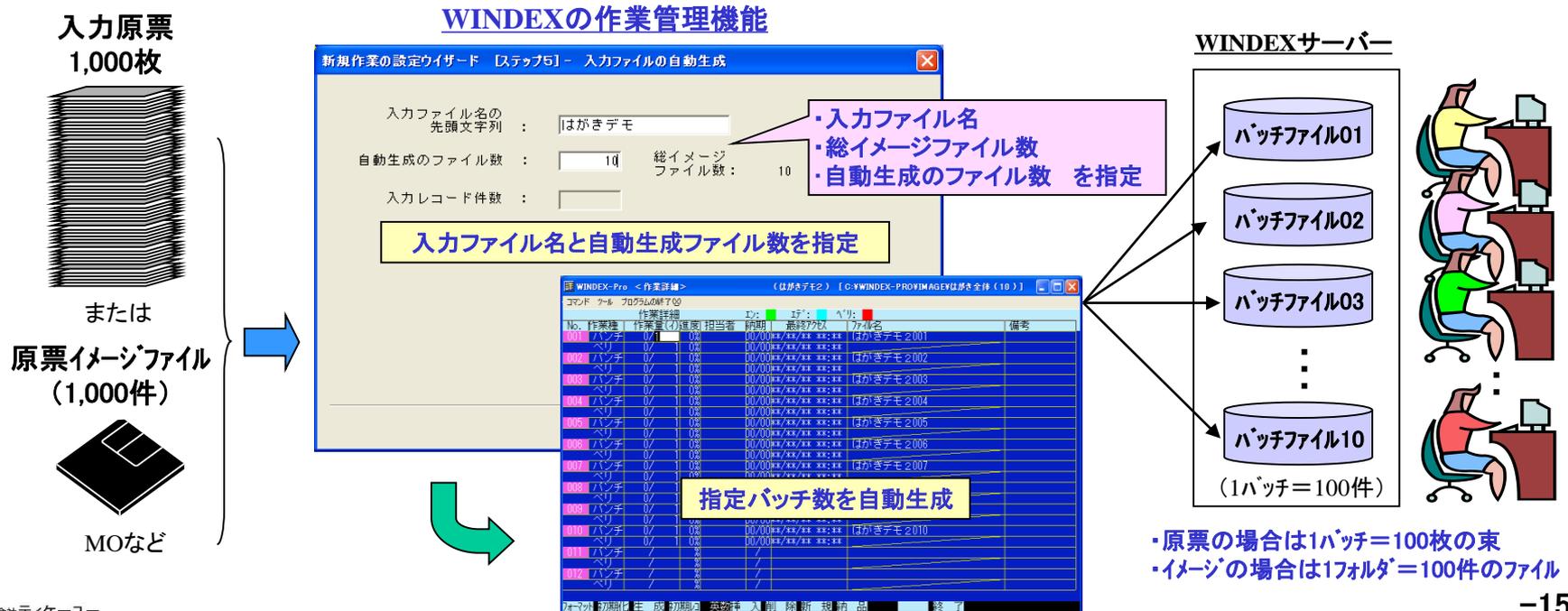
11. 作業管理(バッチ仕分け)について

1) 今までのバッチ仕分けでの運用



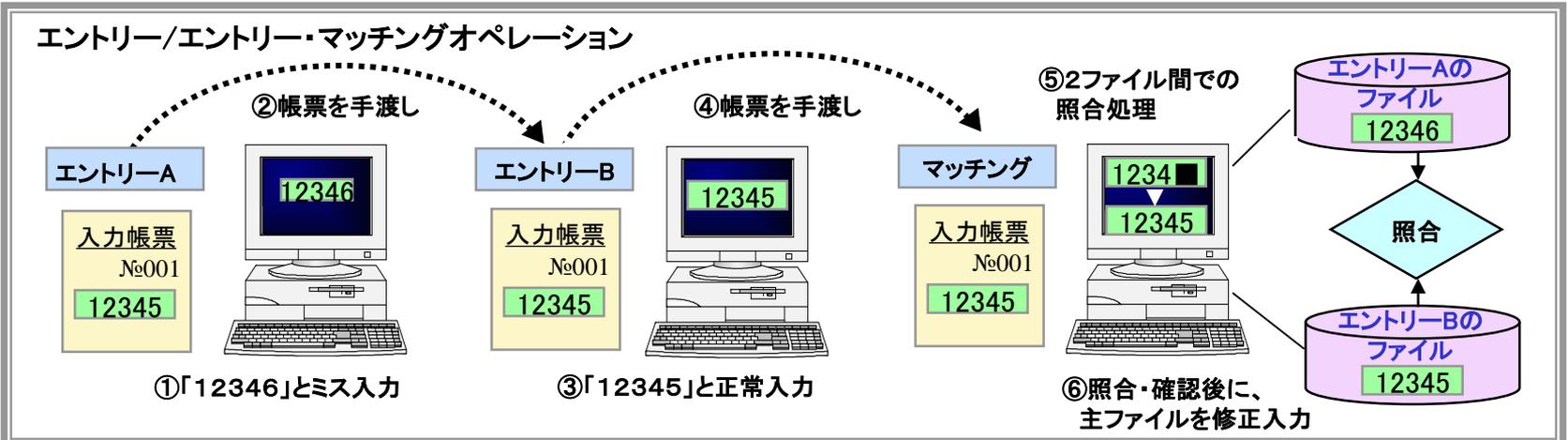
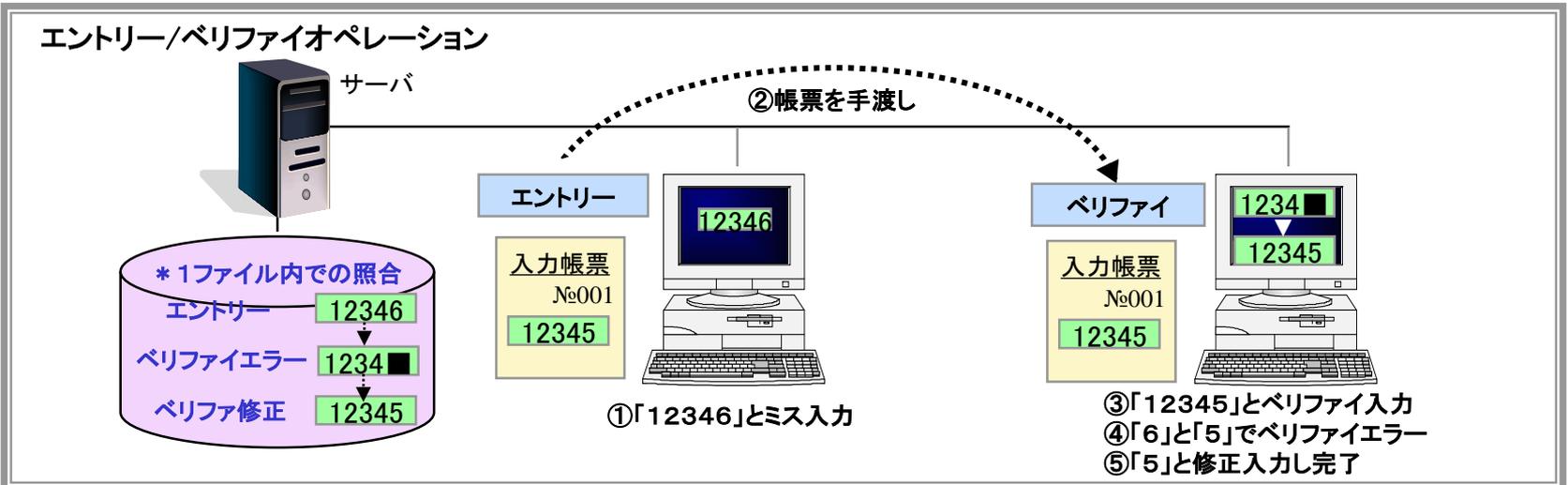
2) WINDEX-Pro II でのバッチファイル自動生成での運用

WINDEX-Pro II ではイメージエントリーが前提のために、最初に各オペレータが入力を実行するための領域を確保します。



12. 入力オペレーションについて

通常、パソコンで行われる入力では、精度向上のために**エントリー+エントリー→マッチング**の工数が必要です。専門パンチャー以外の人で構成する組織の場合の入力形態として、一般的に活用されている方法です。入力業界では、**エントリー/ベリファイ**という業界独自の上書き精査入力の方法が存在します。ベリファイでのデータは上書きされるために、通常、ベリファイはエントリーよりも上位の人が入力して精度の向上を図ります。また、ベリファイと同時に入力が完了する仕組みのために、後方作業の負担が少なく生産性の向上を図ることができます。**WINDEX-Pro II**では入力環境に合わせて、どちらの方法でも入力ができます。



13. 出力(納品)について

作業管理画面

| No. | 作業種 | 作業量(%) | 進捗 | 担当者 | 納期 | 最終アクセス | ファイル名 | 備考 |
|-----|-------|--------|------|------|---------------------|--------|----------|----|
| 001 | パンチベリ | 1/1 | 100% | TKU | 00/0009/10/27 09:06 | | はがきデモ001 | |
| 002 | パンチベリ | 1/1 | 100% | ティケー | 00/0009/10/27 09:08 | | はがきデモ002 | |
| 003 | パンチベリ | 1/1 | 100% | TKU | 00/0009/10/27 09:06 | | はがきデモ003 | |
| 004 | パンチベリ | 1/1 | 100% | ティケー | 00/0009/10/27 09:09 | | はがきデモ004 | |
| 005 | パンチベリ | 0/1 | 0% | ティケー | 00/0009/10/27 09:16 | | はがきデモ005 | |
| 006 | パンチベリ | 1/1 | 100% | TEST | 00/0009/10/27 09:12 | | はがきデモ006 | |
| 007 | パンチベリ | 1/1 | 100% | ティケー | 00/0009/10/27 09:18 | | はがきデモ007 | |
| 008 | パンチベリ | 1/1 | 100% | ティケー | 00/0009/10/27 09:18 | | はがきデモ008 | |
| 009 | パンチベリ | 1/1 | 100% | ティケー | 00/0009/10/27 09:18 | | はがきデモ009 | |
| 010 | パンチベリ | 0/1 | 0% | ティケー | 00/0009/10/27 09:18 | | はがきデモ010 | |
| 011 | パンチベリ | 0/1 | 0% | ティケー | 00/0009/10/27 09:18 | | はがきデモ011 | |

「エントリー中」
を緑色で表示

「作業量」で入力の進捗を確認
(例) 原票時: 1/0
イメージ時: 1/10

「ベリファイ中」
を赤色で表示

ファイル出力画面

テキストファイル出力

入力ファイル名: 10 個のファイルが選択されています。 詳細表示

出力マージファイル名: C:\%WINDEX-PRO%\SP1DATA\%はがきデモ%\はがきデモ.MG1 参照

出力ファイル名: C:\%WINDEX-PRO%\TEXTDATA\%はがきデモ 参照

仮コードファイル名: 参照

追加マージファイル名: 参照

終了時実行ファイル名: 参照

自動的に拡張子をつける: SP1ファイルを初期化する 設定読込

マクロを有効にする 設定保存

出力レコードの設定

出力形式:
 ロード長揃え 改行無し
 改行有り
 CSV形式

ロード長:

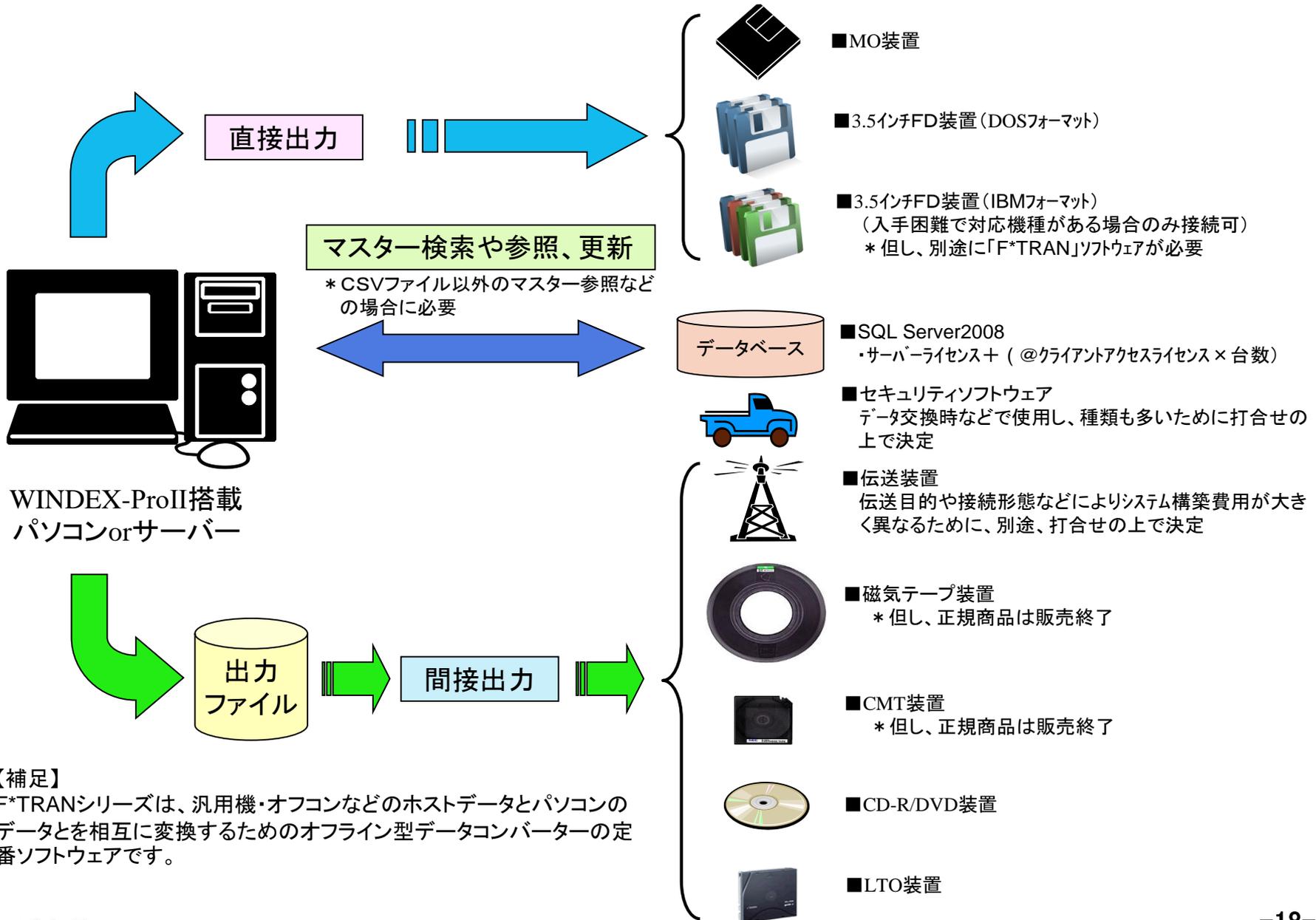
CSV:
 引用符:
 区切り:
 エスケープ:

改行形式: 1 レコード毎

マージSP1ファイルを作成する
 出力ファイルが存在した場合最後に追加する

文字変換設定 使用フォーマット 終了 実行

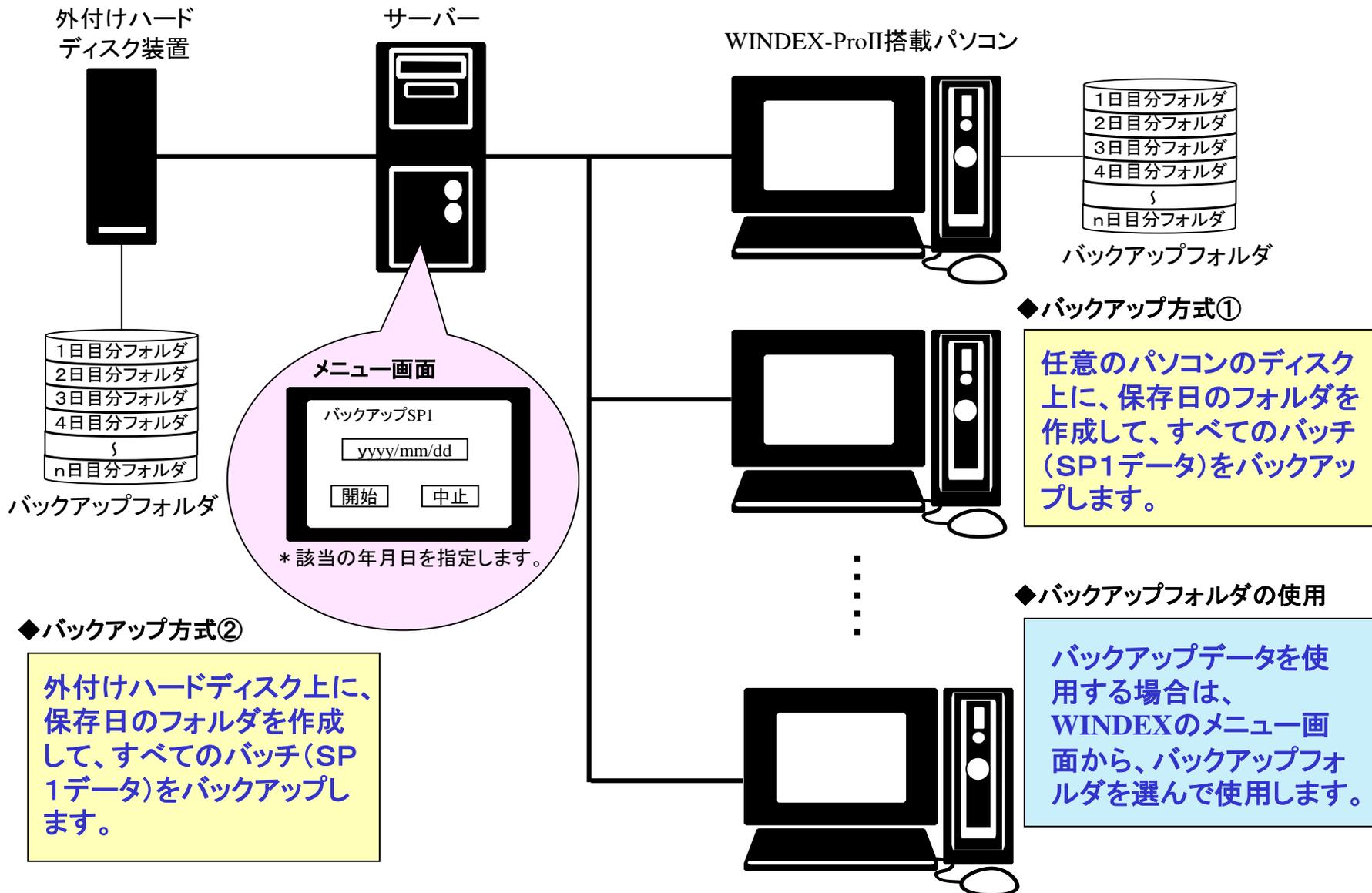
14.出力媒体などについて



【補足】

F*TRANシリーズは、汎用機・オフコンなどのホストデータとパソコンのデータとを相互に変換するためのオフライン型データコンバーターの定番ソフトウェアです。

15.データのバックアップ管理について



16. 統計情報について

スーパーバイザ(管理者)機能として、オペレーターの生産性や業務別の採算性を把握するために、統計情報の採取が可能です。

エントリーやベリファイなどのオペレーション別に、入出レコードや総入力タッチ数、入力時間、文字タイプ別の入力タッチ数などの項目情報の採取が可能です。

作業統計

集計区分: すべての端末, 端末番号指定: 0

種別: パンチャ別, 作業別

期間: 本日, 累計, 期間指定

一覧表示する

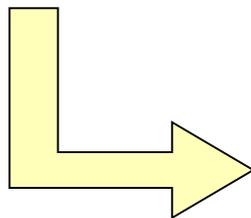
開始日: 2003年9月24日

終了日: 2003年9月24日

実行(R) 終了(E)

統計情報表示画面

| ファイル名 | 種別 | 入力レコード | 出力レコード | タッチ数 | 時間 | タッチ数/H | 漢字 |
|-----------|------|--------|--------|------|---------|--------|----|
| TKU | パンチ | 0 | | 21 | 0000:07 | 180 | 0 |
| | ベリ | 0 | | 0 | 0000:00 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0 | 21 | 0000:07 | 180 | 0 |
| | ベリ訂正 | | | 0 | | | 0 |
| <パンチャ名無し> | パンチ | 0 | | 0 | 0000:00 | 0 | 0 |
| | ベリ | 0 | | 0 | 0000:00 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0 | 0 | 0000:00 | 0 | 0 |
| | ベリ訂正 | | | 0 | | | 0 |



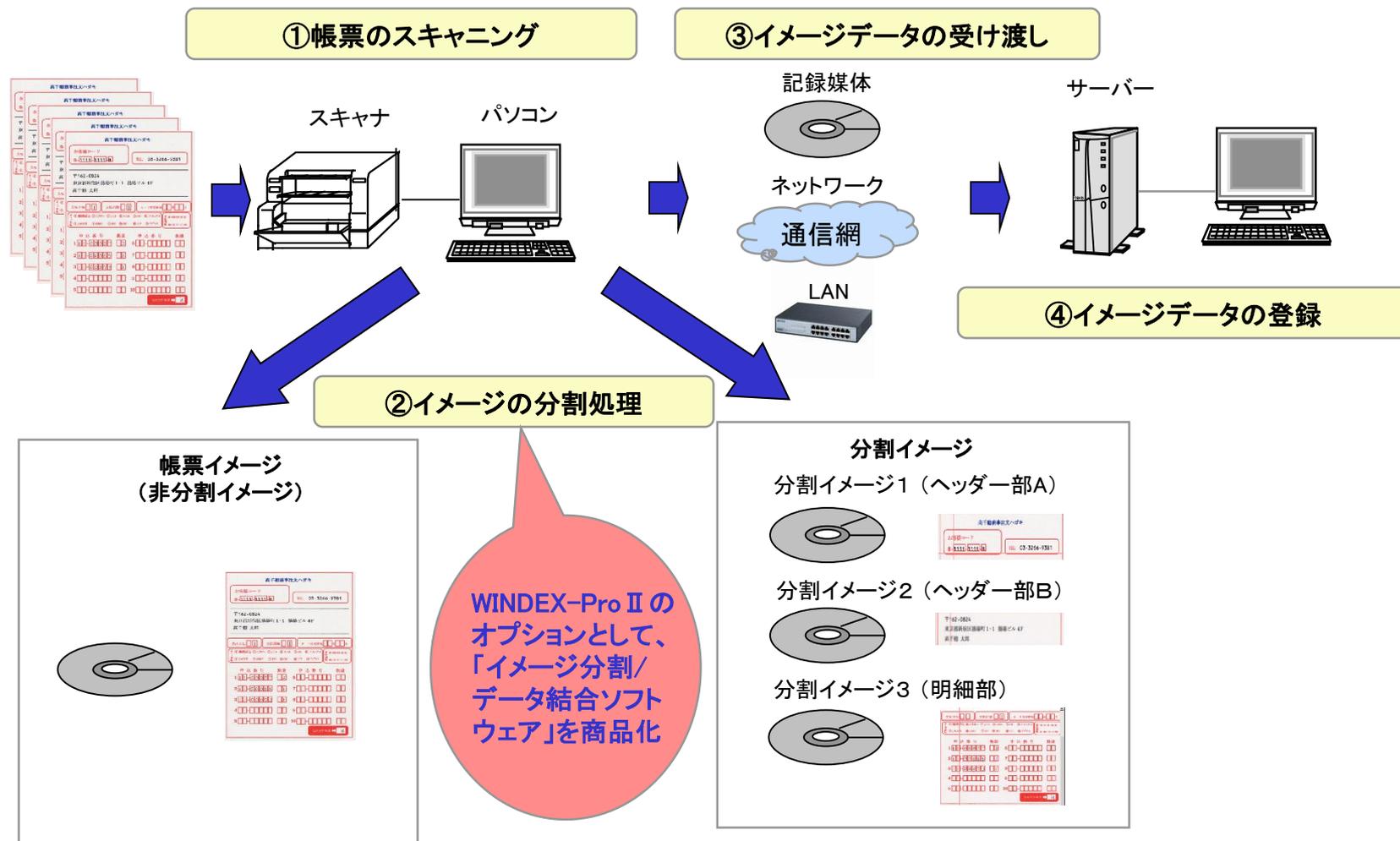
17. イメージエントリーの機能について

1) WINDEX-Pro II のイメージエントリー機能について

- ① 1帳票のイメージ画像を分割や合成する機能、またはデータを結合する機能はありません。
- ② WINDEX-Pro II の「イメージの関連付け機能」により、イメージ画像とエントリー画面とを簡単な操作でイメージエントリーを実現できます。
- ③ イメージ画像の表示位置は、エントリー画面を基点に上下左右のどの位置でも表示が可能です。
- ④ 事前設定により、希望する項目(フィールド)の表示を拡大・縮小することができます。
- ⑤ 入力画面の項目に対応して、イメージ画像の入力項目位置に注目線や矩形を表示することができます。
- ⑥ イメージ画像の付箋処理に対応するためにメモ機能があります。
- ⑦ イメージエントリーのセキュリティや生産性向上のために、専用のイメージ分割/データ結合ソフトウェアとの連携が可能です。

2) WINDEX-Pro II でのイメージエントリーの事前処理

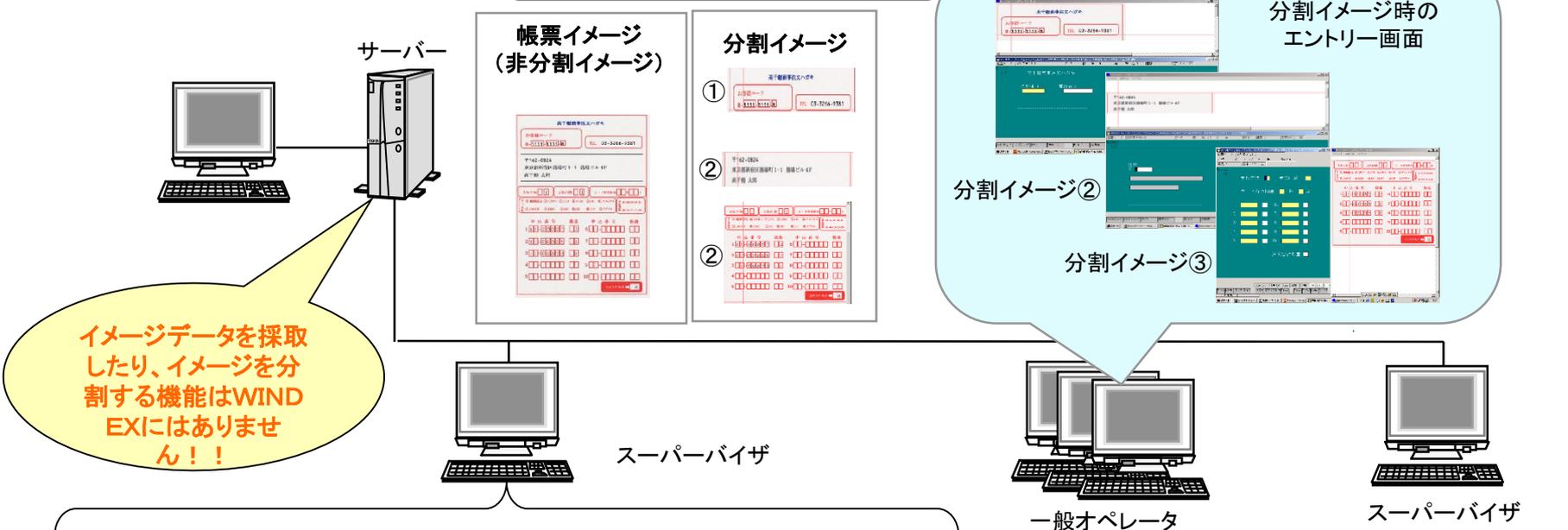
下記のイメージ採取に関連するソフトウェアや機能はWINDEX-Pro II ソフトウェアには含まれません。イメージの採取はスキャナ装置に付属するソフトウェアやイメージ処理専用ソフトウェアを利用します。また、入力の生産性向上やセキュリティ確保のために、WINDEX-Pro II 用のイメージ分割・データ結合ソフトウェアを用意しています。



3) WINDEX-Pro II でのイメージエントリーの処理概要

(P.22の「イメージエントリーの事前処理」より)→

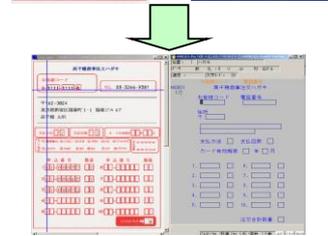
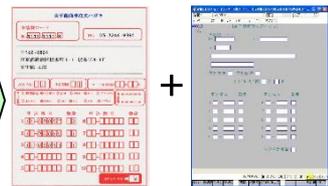
④登録されたイメージデータ



- ①フォーマットの作成
- ②画像の関連付け
- ③作業管理の作成
- ④エンリ/ベリファイ
- ⑥データ出力



入力画面作成

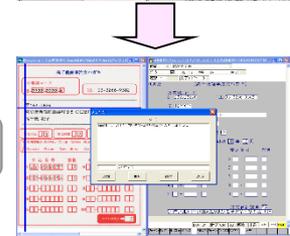


入力画面と画像の関連付け (帳票イメージ画面)



入力環境の作成 (イメージのパッチ分け等)

⑤メモ機能



イメージの付箋処理



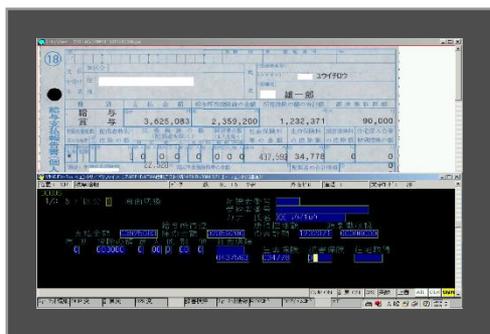
データの出力処理 (処理の終了)

①から⑥までの処理は、WINDEX-Pro II の機能に拠る

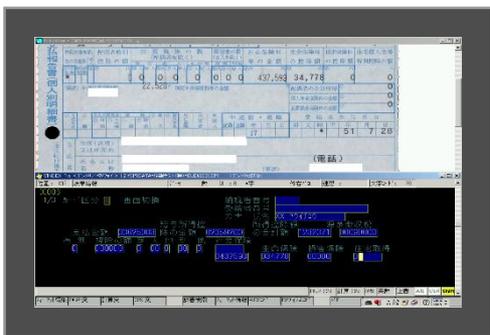
4) WINDEX-Pro II でのイメージエントリー時の画面表示

1画面で収まらないイメージは2基のディスプレイやワイドディスプレイを使用することにより、効率的にイメージを表示することができます。

■通常のディスプレイ使用時の入力画面例



1ページ目の入力画面

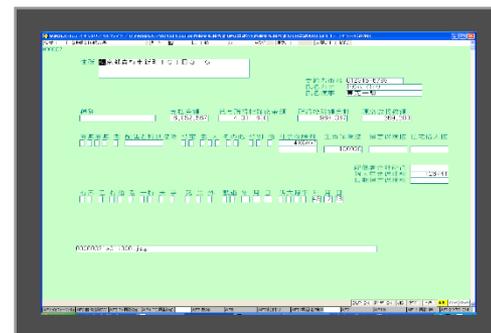


2ページ目の入力画面

■マルチ(デュアル)ディスプレイ使用時の入力画面例



イメージ表示用ディスプレイ

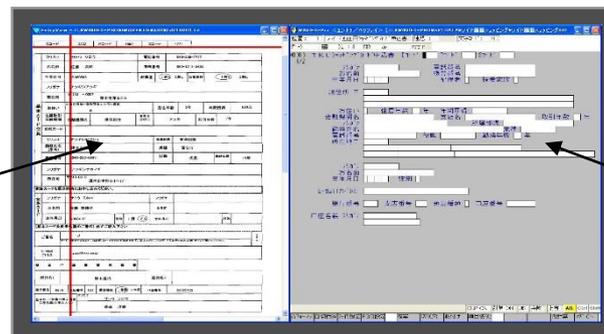


入力画面用ディスプレイ



■ワイドディスプレイ使用時の入力画面例

* 22インチワイドディスプレイ使用時には、A4判帳票の縦イメージがほぼ原寸で表示できます。



イメージ表示部分

入力画面表示部分

